

公益財団法人SGH財団
第23回市民公開講座

前立腺がん 進歩する治療とあなたの選択

男性のがんで罹患数が最も多い前立腺がんは、近年、待機療法、手術療法、放射線治療という局所治療法、ホルモン治療・薬物治療という全身治療法、いずれも大きく進歩し、それに伴い選択肢も広がっています。

今回の市民公開講座では、エキスパートにより各治療法の最新情報をわかりやすく紹介するとともに、個々の患者に合った治療法の選択の在り方についても皆様方と一緒に考えます。

日時

令和7年 **3月2日** (日)

13:00開演 | 15:45閉演予定

主催：公益財団法人SGH財団 後援：公益財団法人日本対がん協会

協力：SGホールディングスグループ

スケジュール

13:00 開演

主催者挨拶

公益財団法人 SGH 財団理事長

SG ホールディングス株式会社代表取締役会長

佐川急便株式会社会長

栗和田 榮一

13:05~ 第1部 講演

待機療法、手術療法についての最新情報

京都大学大学院医学研究科泌尿器科学教授

小林 恭

放射線治療(X線、粒子線、小線源治療)についての最新情報

京都大学大学院医学研究科放射線腫瘍学・画像応用治療学教授

溝脇 尚志

ホルモン治療、抗がん剤など全身治療についての最新情報

東京慈恵会医科大学泌尿器科教授

木村 高弘

患者から見た前立腺がん治療について

NPO 法人腺友倶楽部理事長

武内 務

休憩

14:50~ 第2部 パネルディスカッション

モデレーター

京都大学名誉教授

宇治徳洲会病院顧問

平岡 眞寛

京都大学名誉教授

国立病院機構京都医療センター名誉院長

小西 郁生

パネリスト

小林 恭

溝脇 尚志

木村 高弘

武内 務

15:45 閉演

コーディネーター

平岡 眞寛

小西 郁生

司会

植月 百枝

講演
「待機療法、手術療法についての最新情報」



京都大学大学院医学研究科
泌尿器科学教授

小林 恭

男性のがんで罹患数が最も多い前立腺がんは、患者さんの状態、病気の状態に応じて、待機療法、手術療法、放射線治療、ホルモン治療等、多くの治療選択肢があります。今回の市民公開講座では、前立腺がんの基礎知識から、

治療法選択にあたって考えるべき点、各治療の最新情報をわかりやすく紹介し、前立腺がんの診断と治療のあり方について皆様方と一緒に考えたいと思います。

学歴

平成 10年 京都大学医学部 卒業

平成 22年 京都大学大学院医学研究科 博士号取得

職歴

平成 10年 神戸市立中央市民病院 研修医

平成 12年 京都大学医学部附属病院 医員

平成 13年 浜松労災病院

平成 22年 コロンビア大学Herbert Irving Comprehensive Cancer Center博士研究員

平成 24年 京都大学医学部附属病院 泌尿器科助教

平成 29年 京都大学大学院医学研究科 泌尿器科学 講師

令和 2年 京都大学大学院医学研究科 泌尿器科学 准教授

令和 3年 京都大学大学院医学研究科 泌尿器科学 教授

専門医等

日本泌尿器科学会 専門医・指導医

日本泌尿器内視鏡ロボティクス学会・日本内視鏡外科学会 腹腔鏡技術認定医

日本泌尿器内視鏡ロボティクス学会 ロボット支援手術プロクター

(ダビンチ・hinotori・Hugo 膀胱・前立腺／副腎・腎(尿管))

日本臨床腎移植学会 認定医

講演
「放射線治療(X線、粒子線、小線源治療)についての最新情報」



京都大学大学院医学研究科
放射線腫瘍学・画像応用治療学教授

溝脇 尚志

放射線治療は、手術療法、薬物療法(抗がん剤治療やホルモン療法など)とともに、がん治療における三本柱の一つであり、根治目的のみならず延命や症状緩和目的にも幅広く用いられています。前立腺がんは、特に放射線治療の適応となることが多い疾患で、さまざまな放射

線治療法が用いられます。本講演では、放射線治療の概要とともに、転移のない前立腺癌に対して根治目的で実施される各種放射線治療方法の概要とそれぞれの長所・短所を解説いたします。前立腺がんに対する治療選択の一助となれば幸いです。

学歴

平成 元年 京都大学医学部卒業

平成 9年 京都大学大学院医学研究科博士課程修了(医学博士)

職歴

平成 元年 京都大学医学部附属病院 放射線科・核医学科 医員(研修医)

平成 2年 田附興風会北野病院 放射線科 医員

平成 9年 天理よろづ相談所病院 放射線部 医員

平成 11年 京都大学医学部附属病院 放射線科 助手

平成 13年 Memorial Sloan-Kettering Cancer Center医学物理学教室 客員研究員

平成 14年 京都大学医学部附属病院 放射線科 助手

平成 16年 京都大学大学院医学研究科放射線腫瘍学・画像応用治療学 講師

平成 24年 京都大学大学院医学研究科放射線腫瘍学・画像応用治療学 准教授

平成 28年 京都大学大学院医学研究科放射線腫瘍学・画像応用治療学 教授

令和5年4月 京都大学大学院医学研究科 副研究科長(兼任)

京都大学医学部附属病院 副病院長(兼任)

専門医等

日本専門医機構 放射線科専門医

日本医学放射線学会・日本放射線腫瘍学会 放射線治療専門医

京都大学医学部附属病院 医師臨床修練指導医

講演
「ホルモン治療、抗がん剤など全身治療についての最新情報」



東京慈恵会医科大学
泌尿器科教授

木村 高弘

前立腺がんは進行がんでも比較的ゆるやかに進行します。ホルモン療法を中心とした全身治療の効果は高く、遠隔転移があっても5年生存率は50%を超えています。近年より早期から強力なホルモン療法や抗がん剤を使用することで、生存期間が延長することが報告され、治療

は大きく変化しています。一方で、強力な治療による副作用やQOLの問題なども注目されており、いかに長く、そしてよりよく生きるかが重要視されています。本講演では進行性前立腺がんの最新治療とそれにまつわる諸問題についてお話しします。

学歴

平成 8年 東京慈恵会医科大学医学部 卒業

平成 14年 学位取得 医学博士（授与大学名：東京慈恵会医科大学）

職歴

平成 8年 東京慈恵会医科大学附属病院研修医

平成 10年 J R 東京総合病院泌尿器科診療医員

平成 11年 東京慈恵会医科大学泌尿器科学講座助手

平成 15年 米国UCLAポストドクトラルフェロー

平成 18年 東京慈恵会医科大学泌尿器科学講座助教

平成 23年 東京慈恵会医科大学泌尿器科学講座講師

平成 30年 東京慈恵会医科大学泌尿器科学講座准教授

令和 4年 東京慈恵会医科大学泌尿器科学講座教授

専門医等

日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医・指導医

日本泌尿器科学会・日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医

日本泌尿器科学会（代議員）

日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会（代議員・監事）

日本泌尿器腫瘍学会（代議員・理事）

など

講演
「患者から見た前立腺がん治療について」



NPO 法人腺友倶楽部

理事長

武内 務

前立腺がんの治療法は、泌尿器科、放射線治療科など複数の診療科にまたがり、多岐に渡っています。話を聞く先生によって意見が異なることも珍しくありません。しかし、患者がまず接するのは、多くの場合一人の泌尿器科医です。偏りのない治療情報を広く知り、

比較検討の上、ご自身の希望や生活信条にふさわしい治療にたどり着くにはどうすれば良いのでしょうか。前立腺がんの治療歴20年、前立腺がん患者会代表として10年、多くの患者さんと接してきた経験から、ベストと思える方法をお伝えしたいと思います。

学歴

昭和 47年 神戸大学工学部建築学科卒

職歴

一級建築士として、長年、建築設計（意匠・統括）に携わる

前立腺がん関連の活動

平成 16年 前立腺がん（T3）が発覚、放射線治療（IMRT）
平成 17年 前立腺がん体験記、解説「前立腺がんガイドブック」、掲示板をWEB上に公開
平成 20年 「ブルークローバーキャンペーン」（対がん協会他） 初講演
平成 22年 第48回癌治療学会 市民公開講座にて発表
平成 24年 前立腺がんウェブサイト「腺友ネット」立上（患者会設立の母体となる）
平成 26年 NHK前立腺がんフォーラム 出演（教育TV：60分）
平成 26年 前立腺がん患者・家族の会「腺友倶楽部」設立
平成 28年 NPO法人腺友倶楽部設立
平成 28年 日本泌尿器科学会シンポジウム、日本放射線腫瘍学会市民公開講座にて発表（以降、泌尿器腫瘍学会も含めて、学会、市民公開講座等での発表はしばしば）
平成 28年 会報誌「腺友倶楽部」創刊（現在5500部発行、がん拠点病院に無償配布）
平成 30年 男性がん総合フォーラム「Mo-FESTA CANCER FORUM」を開催
令和 6年 同FORUMは、日本泌尿器腫瘍学会、日本放射線腫瘍学会との3者共催となる

役職等

認定NPO法人健康と病の語り 前立腺がんアドバイザー 委員
Relay For Life Japan神戸 実行委員長 4年、現在は顧問
ひょうごがん患者連絡会 事務局長 5年、現在は理事
NPO法人腺友倶楽部 理事長
神戸市がん教育関係者会議 委員
全国がん患者団体連合会がん教育委員会 委員
核医学診療推進国民会議 理事
前立腺癌診療ガイドライン2023 編集委員
前立腺癌検診ガイドライン（改定版） 編集委員
患者用前立腺癌ガイドライン（初版） 編集委員

コーディネーター



京都大学名誉教授
宇治徳洲会病院顧問

平岡 真寛

男性で最も罹りやすいがんとなった前立腺がんですが、進行がゆっくりしていること、治療法の進歩が著しいこと、治療の選択肢が複数あるという特徴があります。

本市民講座では、まず、各治療法が如何に進歩したか最新情報をエキスパートにより紹介し

ていただきます。次いで、体験者でもある患者団体代表者より、自分に合った治療法を選択することの重要性とそのコツについてお話しいたします。最後に、前立腺がんに向き合ったらいいか皆様とご一緒に考えたいと思います。

学歴

昭和 52年 京都大学医学部卒業

昭和 59年 京都大学大学院医学研究科博士課程修了

職歴

昭和 59年 京都大学医学部附属病院放射線科助手

昭和 62年 米国スタンフォード大学放射線腫瘍科客員助教授

平成 元年 京都大学医学部講師

平成 4年 京都大学医学部助教授

平成 7年 京都大学大学院医学研究科教授

平成 19年 京都大学医学部附属病院がんセンター長 併任

平成 24年 京都大学産官学連携本部副本部長 併任

平成 28年 日本赤十字社和歌山医療センター院長

令和 4年 同名誉院長、宇治徳洲会病院顧問

コーディネーター



京都大学名誉教授

国立病院機構京都医療センター名誉院長

小西 郁生

がんは二人に一人が必ず罹る病気ですが、医学・医療の進歩によって今や三人に二人は治ります。また完全に治らなくても、さまざまなケアによって「がんと生きる」ことが可能となりました。前立腺がんは、近年、その発症頻度が急上昇しており、男性が最も罹りやすいがんといえ

ます。私自身も非常に気にしており、腫瘍マーカーのPSAを毎年チェックしています。大多数はゆっくり進行することから様々な管理法・治療法が提案されており、今回の市民公開講座では、その最新情報を視聴者の皆さまと一緒に学びたいと思います。

学歴

昭和 51年 京都大学医学部卒業

昭和 63年 京都大学大学院医学研究科博士課程修了

職歴

昭和 61年 京都大学医学部附属病院産科婦人科助手

平成 4年 米国アーカンソー医科大学研究員

平成 5年 京都大学医学部婦人科学産科学講師

平成 11年 信州大学医学部産科婦人科学教授

平成 15年 同 附属病院副病院長

平成 19年 京都大学医学研究科婦人科学産科学教授

平成 20年 同 医学部附属病院副病院長

平成 28年 国立病院機構京都医療センター院長

令和 2年 同 名誉院長・特別研究員

これまでの市民公開講座

第22回「がんと言われた時から～毎日を健やかに過ごすには？～」

開催日：令和6年3月3日（日） オンライン開催

第21回「がん免疫療法の進歩 科学的根拠と最新情報」

開催日：令和5年2月23日（木・祝） オンライン開催

第20回「がんを予防するための最新情報を学ぶ」

開催日：令和4年2月27日（日） オンライン開催

第19回「ウィズコロナ時代の新たながん医療とは」

開催日：令和3年2月23日（火・祝） オンライン開催

第18回「がんゲノム医療について ～精密医療の到来？～」

開催日：令和2年2月24日（月・振休） 会場：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター（大阪市）

第17回「がんとともに生きる ～患者に寄り添う医療とは？～」

開催日：平成31年2月24日（日） 会場：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター（大阪市）

第16回「こんなに進んだ！肺がん治療の最前線」

開催日：平成30年2月18日（日） 会場：ハービスOSAKAハービスHALL（大阪市）

第15回「こんなに進んだ大腸がん診療！」

開催日：平成29年2月26日（日） 会場：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター（大阪市）

第14回「泌尿器科がん：診断・治療の最前線」

開催日：平成28年2月21日（日） 会場：新大阪イベントホール レルミエール（大阪市）

第13回「こんなに進んだ乳がん治療！」

開催日：平成27年3月15日（日） 会場：大阪国際会議場（大阪市）

第12回「輝いて生きる」

開催日：平成26年2月16日（日） 会場：よみうりホール（東京都千代田区）

第11回「がんと人生」

開催日：平成25年3月24日（日） 会場：有楽町朝日ホール（東京都千代田区）

第10回「子宮がんの予防と治療」

開催日：平成24年3月20日（火・祝） 会場：国立京都国際会館（京都市）

第9回「乳がんの治療と診断」

開催日：平成23年3月27日（日） 会場：京都大学 時計台ホール（京都市）

第8回「集中的がん治療 ～治療成績向上を目指したチーム医療～」

開催日：平成22年3月28日（日） 会場：京都大学 時計台ホール（京都市） 共催：文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン

第7回「がん治療最前線 ～大きく変わるがん治療（薬物、放射線、外科治療）～」

開催日：平成21年3月22日（日） 会場：東海テレビ テレビアホール（名古屋市） 共催：NPO法人日本臨床腫瘍学会

第6回「府民とともに考える京都のがん医療」

開催日：平成20年2月2日（土） 会場：京都産業会館 シルクホール（京都市） 共催：京都新聞社

第5回「大腸がんの最前線」

開催日：平成19年3月17日（土） 会場：京都市北文化会館（京都市）

第4回「肺がんの最新情報」

開催日：平成18年3月25日（土） 会場：京都産業会館 シルクホール（京都市）

第3回「がんの予防と胃癌治療の最前線」

開催日：平成17年2月26日（土） 会場：京都会館第二ホール（京都市）

第2回「前立腺がんの最新情報」

開催日：平成16年3月20日（土・祝） 会場：国立京都国際会館（京都市）

第1回「乳がんの最新情報」

開催日：平成15年2月1日（土） 会場：京都市北文化会館（京都市） 共催：京都新聞社

がんに打ち勝つ、 未来のために。



公益財団法人SGH財団は、
がんに関する研究、並びにがん看護に関する
研究・実践開発に対して、助成・褒賞を行っています。

がん研究振興事業

■ SGH特別賞

がんの基礎・臨床研究に顕著な功績を挙げ、
かつ今後の発展が期待される方を対象に、
表彰を行っています。

■ SGH看護特別賞

がん看護に関する先駆的な研究並びに実践を
行うことにより、わが国の医療の発展・向上に寄与し、
その業績が顕著で、かつ今後の発展が期待される
個人または団体を対象に表彰を行っています。

■ SGHがん研究助成

がんの基礎及び臨床における優れた研究を対象として、
若手研究者の育成を目的に、
平成元年度から助成を行っています。

■ SGHがん看護研究助成

がん看護に関する優れた研究並びに実践における
新しい取り組みを対象として、
看護実践の発展に寄与することを目的に、
令和元年度から助成を行っています。

留学生 奨学事業

日本の大学に在学する東南アジアからの
私費外国人留学生に
奨学金支援を行っています。

■ 奨学金支援(給付型奨学金)

■ 奨学生交流支援

・卒業奨学生同窓会 ・奨学生交流会

国際経済 協力事業

物流に関する高度教育機関への
専門家派遣や研修生を受け入れ、
人材育成を行っています。

■ 物流人材育成支援

・研修生受け入れ ・物流集中講義の実施

公益財団法人SGH財団

〒600-8009京都市下京区函谷鉾町79ヤサカ四条烏丸ビル9階 TEL:075-255-9310 FAX:075-255-9311

<https://www.sgh-foundation.or.jp>